

放課後等デイサービス自己評価表 事業所職員向け

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			昨年度よりスペースが拡張されて広々としている
	2	職員の配置数は適切であるか		3	1	もっと職員をふやしたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		手すりなどを増やす余地がある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			職員ミーティングが徹底されている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		昨年度のアンケートをもとに業務改善した。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページで公開済み。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2		今年は外部評価は行ってないが、定期的に第三者の意見も聞くようにしている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			月に1回事業所内で研修は継続して開催されている。外部の研修への参加や、資格取得が推奨される環境が整っている。
#	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			保護者と子どものニーズを明確にして、成長を見守りながら、中間評価をおこなって随時、改善をプログラムに反映している。
	#	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		利用しているが、職員全員が把握できていない
	#	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			自発管と、その子どもの担当の職員を中心に全員で行われている。

適切な支援の提供	#	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			職員がさまざまな活動のアイデアを日々出し合っている。
	#	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			できている子供と、そうでない子供がいるので、改善の余地あり。
	#	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			子どもたちのからだや心理状態、年齢に応じて成長段階を見極めて、個別支援と集団支援を組み合わせながら実施している。
	#	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			職員ミーティングを行っている。
	#	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			毎回その都度、支援内容の確認と振り返りを行っている。
	#	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			その日のうちに記録を取るようになっている
	#	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			半年に1回以上のモニタリングを行っている。
	#	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4			基本活動を子どもの状態やニーズに合わせて組み合わせ支援している。
関係機関や	#	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			児童発達支援管理責任者と事業所長が必要なミーティングに参加している。必要に応じてその他担当者も同行している。
	#	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			毎月定期報告のメールを送っている。また、その他の問い合わせなど、必要に応じて連絡をしている。
	#	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4		対象児童なし
	#	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3		1	就学前の情報は、保育園や幼稚園には通わない場合が多いため、親御さんからヒヤリングするようにしている。
	#	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3		1	対象児童なし

保護者との連携	#	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		外部の研修会などを通して助言を受けたりしている。また、個々の児童支援員との連携は密に行われている。
	#	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1		地域のイベントなどに出席することで交流する場がある
	#	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4			市内の福祉サービス事業所連絡会が開催される際には、出席し、情報の公開や収集を行うようにしている
	#	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			定期的に保護者への連絡を行い情報共有に努めるとともに、モニタリング面談を半年に1度行い、子どもの課題や成長について認識を共有している。
	#	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			頻繁に保護者の相談を聞くことはあるが、プログラムとしてはまだ用意できていない。今後の課題と認識している。
保護者への説明責任等	#	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			利用契約締結時に重要事項説明書を用いて説明している。また、疑問があればその都度解消できるよう相談に応じている。
	#	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			定期的に保護者への連絡を行い情報共有に努めるとともに、モニタリング面談を半年に1度行い子どもの課題や成長について認識を共有している。
	#	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		オンラインで数回実施、今後対面での機会も検討する予定。
	#	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情はなかったが、あった場合には、迅速かつ適切に対応できる体制が整えられている。
	#	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			定期的に個々への連絡で行っている。
	#	個人情報に十分注意しているか	4			職員は採用時に個人情報守秘義務同意書に捺印している。年に1度個人情報取り扱いに関する研修を行っている。
	#	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			こどもの特性や保護者に配慮した意思疎通、情報伝達が行われるよう、職員への研修の場も設けられている。
	#	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			地域の方をイベントに招待したり、地域の方の畑で農作業を体験させていただくことで、地域の方々と交流している。

非常時等の対応	#	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			職員には、研修等を通して周知が十分にされている。保護者へは契約時に説明しているが、必要な際にマニュアルを閲覧できるようにするなどの改善の余地がある
	#	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		数ヶ月に一度、避難訓練が行われている。
	#	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			委員会と研修会が開催され、職員が十分な理解を得ている。
	#	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			身体拘束は行っていない。身体接触に際しては本人への同意と保護者への同意が必須としている。身体接触、安全確保等について職員一同で研修し十分な訓練
	#	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			通常食事の提供は行っていないが、飲食が伴う活動がある場合は、細心の注意をはらうようにしている。
	#	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			職員間のメーリングリスト等で共有されている